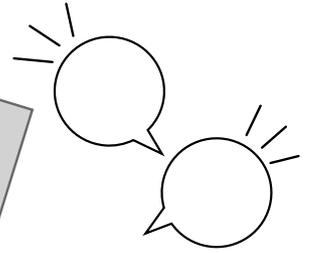


平成15年度町長と語る会

スクールトーク



町長が直接住民と意見交換をして、町民の声を今後の町づくりで反映させていくことを目的とした「スクールトーク」が、今年度は坂上小学、北小学校、明治小学校、明治南小学校の4校で行われました。

町長は各小学校で、給食を食べながら和やかな雰囲気懇談しました。また、小学生から町長に対する質問がたくさん出され、町長は一つひとつ丁寧に答えていました。その質疑の内容を一部紹介します。

質問 町長さんは、どんな仕事をしているのですか。

町長 町民皆さんの意見を聞いて、町を良くするために何をするかを決め、それを行っていく仕事です。



質問 給食センターの近くに医療廃棄物中間処理施設が造られようとしています。給食の安全、それから、町に人が住みづらくなってしまうので、医療廃棄物中間処理施設の工事を中止させてください。

町長 その心配は良く分かります。私も反対です。町の多くの人が反対しています。今、多くの町民の人と一緒に、業者に施設を造らないように、知事には許可の取り消しを強く求めています。これからも努力していきます。



質問 ぼくは、芝の張られた大きなサッカー場や、野球場がほしいです。その理由は、上三川町に芝のグラウンドが無いことです。サッカーや野球をやっているみんなのために、大きなスタジアムを造ってください。お願いします。

町長 スタジアムを造るのには、お金がかかるので難しいです。でも、夢を持つてその事を続けていけば、そのような場所のできることもあると思いますので、頑張ってください。

質問 宇都宮市と合併して、私たちにどういう意味があるのですか。変わる瞬間を教えてください。

町長 これからの町づくりの方法は、大きく変わります。今までと同じ



じというわけにはいきません。
合併は、皆さんが大人になるころ、
将来のことを考えてのことです。
合併すると、上三川町という名前は
はなくなりませんが、地域の名前は残
ります。

質問 上三川町の自然環境を守る
ため、どんな取り組みをしていま
すか。

町長 自然環境を守っていくことと私
も考えています。自然とは、見て感じ
ることだけではなく、生活していくう
えでかかすことができない水、水質な
どを守っていくことなども重要で
そのような事業も進めています。

質問 町を、体の不自由な人が住
みやすい町にしてほしいです。

町長 体に障害を持った人や、お年
寄りでも不自由なく生活できる町づ



くりは、大切なことだと思
っています。町でも整

備を進めています。例えば、役場や
中央公民館などの町の建物も、バリ
アフリー化を進めています。これか
ら整備を進め、住みよい町にして
いきたいと思えます。

質問 町長から見て、上三川町の
良いところはどんなところですか。

町長 上三川町の良いところは、鬼
怒川など大きな川があり、そして
木や緑、自然が多く、みなさんが
心豊かに生活できるところだと思
います。



質問 歩道がない道が多く、外灯
が少ないです。冬は早く暗くなり
怖いので、外灯を付けてもらいた
いです。

町長 防犯灯が少ないので、冬が暗
くて怖いということですが、私も、
皆さんが通う通学路を安全にしたい
と思っています。希望のあった場所
に全部付けたとは思いますが、防
犯等を付けるにはお金がかかりま
す。希望の場所全部に
付けることは難しいの
で、できるだけ通学路
は優先に付けるように
しています。もし、危
ない場所があれば、お
父さんやお母さんに教
えてあげてください。
そして、できるだけ暗
くならないうちに帰る
ようにしてください。



小学生の皆さん、貴重な意見
をありがとうございました。
「スクールトーク」は、今年
度で終了となります。今までい
ただいた意見等を、今後の町政
に生かしていきたいと思えます。

